

# 立命館経済學

第二十一卷 第二号

昭和四十七年六月

---

## 内 容

### 論 說

- 経営者の在り方(一)……………足立政男 1  
——老舗の家訓・店則から見た——
- 現代貨幣資本の検討……………小牧聖徳 25  
——国家独占資本主義の貨幣資本供給——

### 研 究

- 正規母集団であることの検定について……………山田 弥 57

### 翻 訳

- ア・ゲ・グランベルグ「社会厚生目的関数と実用国民  
経済モデルにおける最適性基準」(上)……………小野 一郎 69
- 共同研究室…………… 98

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十卷・第五・六号

論説

戦時貨銀統制に関する研究(その一)……三好正巳  
——国家独占資本主義貨銀統制の必然性について——  
現代巨大企業における

社会的労働過程のプロセス構造……坂本和一  
研究

関西地方在住の炭鉱離職者の就労と生活実態

に関する調査報告(統)……戸木田嘉久、川端久夫  
資料

独占資本主義確立過程の

工業構成(その一)……伊藤武夫

——「工場統計表」からみた  
「大正期」民営工業の発達趨勢——

書評

中国官僚制独占資本主義の

本質問題について……松野昭二、芝池靖夫

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十一卷・第一号

論説

「均衡蓄積軌道」について……甲賀光秀

研究

ウィリアム・ペティの

経済理論(下の一)……稲村勲

——市民革命経済理論の形成——

資料

社会主義のもとでの

「使用価値と価値」(三)……声田文夫

書評

狭田喜義『職能給の理論と方法』……三好正巳

発行所 立命館大学経済学会